

## ◀ 今までに行ったセミナー ▶

### 【 子育て世代の資産形成方法 23. 4. 23 】

子育てに家事にパートにと、忙しいママさんを対象に忙しいながらも少しずつ資産を形成する方法について、具体例を交えながら易しくわかり易くお話ししました。とくに、主婦には余り馴染みのない投資信託やリート、外貨預金等について計算例と考え方を含めてお話ししました。

### 【 40代から始める財産づくり 23. 5. 21 】

定年までの25年間を利用して時間を味方に付けた運用方法は何か？  
いくらを、何%で、何年、運用すれば、目標金額になるのか計算機を使いながら計算してその実数を体験してもらいました。  
あわせて、少しずつお金を増やしていく方法についても説明し「ドルコスト平均法」の素晴らしさを実感してもらいました。そして、財産づくりを始めるなら①1日でも早く②少額でいいから少しずつ③時間をかけて、増やしていくということ覚えてもらいました。

### 【 50歳から始める自分年金づくり 23. 6. 18 】

15年間の残りサラリーマン生活をしながら公的年金を補うための自分年金をどのように作ればいいのか？銀行の定期預金で増やすことはできません。従って、保険で増やすのか投資信託で増やすのか？FXで増やすのか？はたまたETFかリートか？等々について、商品の特徴を説明しながらお話ししました。  
老後85歳まで生きるとして本当に1億必要なのでしょうか？皆さん準備できているのでしょうか？総務省の統計と「知るぽとる」から引用してお話ししました。

### 【 易しくわかる財産づくり 23. 7. 27 】

幅広い年齢層の方に、年代ごとに異なる資産形成・運用・保全方法について、実例を交えて、各種係数を使って計算しこれからの運用のものさしとする体験を行いました。特に、高齢になってからの資産保全方法について、振り込め詐欺に合わない方法、成年後見制度の活用方法や社会福祉協議会の活用の仕方を含めお話ししました。

### 【 退職後の生きがいを持った過ごし方 23. 8. 27 】

退職を数年先に控え、リタイア後の生活の生きがいを持つと同時に、経済的・精神的肉体的健康を維持する方法についてお話ししました。  
そして、特に会社勤めしか経験していないサラリーマンが退職後陥る「罨」について肩書の無い生活の仕方、社内噂の無い生活の仕方、同僚との一杯の無い生活の仕方等々について、諸先輩の話と現実生活を対比してお話ししました。

### 【 あなたにピッタリの住宅ローンを探す 23. 9. 24 】

新築の住宅価格が安くなったとはいえ、庶民にとって住宅ローンは多額の借金です。いつも言われることですが、大事なことは借りられる額ではなく毎月確実に返済できる金額を借りることです。折角苦労して手に入れた自宅を手放さなければならぬほど悲しいことはありません。そうならないために、自分の現在の生活から見て無理のない住宅ローンの選び方、そして借り方についてハウジングブラザでお話ししました。

### 【 定年退職前の生活設計で豊かな老後を 23. 10. 29 】

定年退職を目前に控えた皆さんを対象に、定年後はどんな生活になるのか？イメージしてもらうとともに、退職後の生活をしている人達の具体例を交え精神的にも、肉体的にもそして金銭的にも健康に生きがいを持って生きる生活をしましょうという内容でお話ししました。

## 【 即、増収増益に結び付く資金繰り 23. 11. 12 】

個人事業主や中小企業の皆さんを対象に、資金繰りがなぜ必要なのか？  
資金繰りの考え方やウオッチのしかた、チェックポイント、そして  
資金繰り表を実際に作り、社長して資金繰り表のどこを見るの？  
そして、資金繰りを頭に入れる方法についてお話ししました。

## 【 35年の長期固定金利ローンを利用した家計防衛策 23. 12. 17 】

今の、住宅ローンは大きく分けて変動金利型と固定金利型の2種類あります。  
変動金利は政策金利の上げ下げによって金利は変動しますが、住宅金融支援  
機構の提供するフラット35は、固定金利で、50年間融資を受けられます。  
この金利を利用することで、物価上昇時のメリットを受けながら、早期に  
繰り上げ償還をすることができます。  
今から30年程前、多くの方がこの方法を利用し15~20年で住宅ローンを完済  
しました。このような、昔経験した繰り上げ償還方法を使った家計防衛策に  
ついてお話ししました。

## 【 不動産投資を始める前に知っておきたいライフプランニング 24. 2. 25 】

株グリップに呼ばれ、老後資金を得る目的で不動産投資を始める方が多くなり  
新聞や雑誌でも不動産投資セミナーの宣伝が多くなりました。  
そんな風潮の中で、不動産投資を始める前に自分の生活資金のベースをきちんと  
確保しておかなければ、思うようなリターンが得られない時、日々の生活資金  
まで投入するという事になります。  
そうならないためにも、日々の生活資金のゆとりの中から不動産投資を  
始めましょうと言う事を銀行の融資方法を含めてお話ししました。

## 【 退職後の充実した暮らし方を学ぶ 24. 4. 21 】

本格的に導入される65歳定年を控え、給料のある生活をチョイスするか？  
はたまた、年金暮らしのリッチな生活をチョイスするか？  
その比較をしながら、健康で長生きするためにはどうすればいいのか？  
人と社会とかがわる方が充実した人生を送れることを、過去のデータ等を  
基に具体例を挙げてお話ししました。

## 【 自社業績を改善させる資金繰り活用法 24. 6. 23 】

企業にとって資金は、人間でいえば血液と同じです。これが企業内をきちんと循環  
するから企業は活性化し業績も向上していきます。但し、これが止まると人間の  
心臓が止まるように企業も倒産してしまいます。こうならないためには、血液の  
循環を止めないようにすること、すなわち資金繰りをきちんとするという事です。  
それさえすれば、あとは営業とか生産、技術開発研究に全精力を投入すること  
ができます。そうすることで企業の業績は断然よくなっていきます。  
このようなお話を資金繰り表を作りながらプランサポートアイでお話ししました。

## 【 年金と老後資金の殖やし方 24. 8. 25 】

年金定期便が来ても、どうせもらえないからと言ってあきらめている方が  
沢山いらっしゃいます。そうではなくて、まずは受給権を確保すること、  
その次に受給する年金額を増加させること、もちろん個人事業主の場合には  
加給年金に加入するのも一つの方法です。この加給年金は2年で元が取れます。  
そして最後に自分年金を作ること。これには色々な方法がありますが、その種類  
方法についてもお話ししました。この3つを実行することで老後豊かで健康な  
人生が送れますというお話をしました。

## 【 資金繰りの本質を知って、金融機関と取引する方法 24. 10. 20 】

資金繰りの本質は、人間でいえば血液が体の中を留まることなくスムーズに流れる事です。そのためには、常に血液が止まることなく流れるようにまず健康体でいなければなりません。会社の資金繰りもこれと同じで健康体であれば資金は順調に流れます。ところが、問題が出でくると資金の流れが滞り会社も健康体でなくなります。そうすると、資金不足をきたし金融機関に融資のお願いをする事になりますが、こんな時ほど金融機関は冷たいものです。そうならないためにも、手元資金は潤沢にしておく、資金繰り状況を常に説明しておく、と言う姿勢が求められます。こんなことを具体例を挙げて説明しました。

## 【 「中小企業金融円滑化法」終了前の生き残り策 24. 12. 7 】

東京商工会議所に呼ばれて、中小企業金融円滑化法が平成25年3月31日で廃止されるのに伴い中小企業はいかにして生き残るのか？そして3月以降勝ち残るのか？について、具体例を交えてお話ししました。もちろん、実現可能な抜本的な経営改善計画の作成方法についてもお話ししました。最後に、自社業績改善計画のチェックシートをお渡しし大勢のお客様からお礼の電話をいただきました。

## 【 50歳から始めるセカンドライフの青写真の作り方 25. 1. 26 】

日本FP協会のフォーラムに呼ばれ、65歳からの定年に備え、50歳から始める自分年金作りとどのようにすれば老後生きがいを持った暮らし方ができるのかをテーマに、老後平均寿命まで生きるとしたらお金がいくら必要なのか？それをどのようにして作ればいいのか？年金の仕組みはどうなっているのか？10年～15年で老後資金を作るにはどのような運用をすればいいのか等々についてお話ししました。



